

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学病理病態診断学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2019年2月 福島県立医科大学医学部病理病態診断学講座 講座主任 橋本 優子

【研究課題名】中・高悪性度B細胞性リンパ腫の腫瘍発生及び悪性化メカニズムの解明

【研究期間】

2019年2月～2025年9月

【研究の意義・目的】

悪性リンパ腫は、B細胞性リンパ腫、T細胞性リンパ腫、ホジキンリンパ腫に分類されています。その中でもB細胞性リンパ腫は近年、組織型に加え、遺伝子異常や染色体異常による分類が進んできています。特に、中・高悪性度B細胞性リンパ腫に分類されるびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫、パーキットリンパ腫においては、11番染色体長腕の異常(遺伝子の増幅・欠失)や、染色体の一部が他の染色体の一部と入れ替わる染色体転座(MYC転座など)が注目され、腫瘍の発生に深くに関係していると考えられています。

MYCというタンパクは、細胞の増殖や細胞の死滅に関与する重要な分子です。8番染色体と14番染色体の一部が入れ替わるMYC転座によって、MYCタンパクが過剰に産生され、このMYC転座がパーキットリンパ腫に特徴的とされています。また、MYC転座はびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫でも認められることがあり、パーキットリンパ腫に似た形態をとります。

しかし、MYC転座が認められないにも関わらず、MYCタンパクが過剰に産生されるリンパ腫が存在します。このタイプのリンパ腫は、細胞の形や特徴がパーキットリンパ腫に非常に似ており、11番染色体長腕に異常があることが分かり、関与するタンパクとして、TCF3、CyclinD3、ID3、FLI1、ETS1等が考えられています。

加えて、びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫でも、MYC転座がなくともMYCタンパクが過剰に産生されている症例が見つかっており、11番染色体長腕の異常やTCF3等のタンパクが、腫瘍の発生や悪性化に関与している可能性が考えられます。

そこで本研究では、患者さんから得られた試料を用いてFISH法(蛍光in situハイブリダイゼーション法)等で、11番染色体等の遺伝子異常や染色体転座を検索します。そして、遺伝子異常・染色体転座と関連が予想されるタンパク(TCF3、CyclinD3、ID3、FLI1、ETS1等)を中心に、細胞を染め分ける免疫染色を行い、遺伝子異常・染色体転座とタンパクの発現の関連性を検討し、中・高悪性度B細胞性リンパ腫の腫瘍発生や悪性化のメカニズムを解明することを目的としています。

【研究の対象となる方】

2001年から2020年までに福島県立医科大学附属病院で、びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫、パーキットリンパ腫と診断された患者さんの生検標本、組織切除標本、病理解剖標本、凍結材料を試料として使用させていただきます。また、2013年から2020年までに会津医療センター附属病院でびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫、パーキットリンパ腫と診断された患者さんの生検標本、組織切除標本、病理解剖標本、凍結材料も試料として使用させていただきます。

【研究の方法】

生検標本、組織切除標本、病理解剖標本についてはパラフィンブロックとして保存されていますので、福島県立医科大学病理病態診断学講座内で薄切し、免疫染色、FISH法、遺伝子解析を行います。また、凍結材料についてはクライオスタットを用いて凍結

切片を作成し、免疫染色、FISH、遺伝子解析を行います。

本研究に際しまして、患者様の既往歴や治療歴などの情報も使用いたしますが、匿名性は確保いたします。

【研究組織】

研究責任者	病理病態診断学講座	教授	橋本	優子
主任研究者	病理病態診断学講座	大学院生	山田	匠希
研究分担者	病理病態診断学講座	准教授	鈴木	理
研究分担者	会津医療センター血液内科学講座	教授	角田	三郎
研究分担者	会津医療センター附属病院病理診断科	特任教授	北條	洋

【他の機関等への試料等の提供について】

該当なし

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部病理病態診断学講座 担当 山田匠希
電話:024-547-1165 FAX: 024-548-4488
E-mail:ya-shoki@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部病理病態診断学講座 担当 山田匠希
電話:024-547-1165 FAX: 024-548-4488
E-mail:ya-shoki@fmu.ac.jp